

中央大学 2026 年度一般選抜

【出題の意図】

試験日	2026 年 2 月 9 日
学部・試験方式	5 学部共通選抜
科目	国語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

設問一

【出題の意図】

現代文の論理的文章についての問題です。今村仁司の文章を題材としました。

古代の労働観について整理した上で、それが近代においてどう変質するのかを論じたものです。

古代における「労働」・「仕事」・「行為」について、それぞれの内容と序列的關係を適切に捉える読解力を問いました。また古代の労働観を通して見ることで、現代の労働の問題点に気づかせることも狙いとしています。漢字などの基本的な知識を問う問題も設けました。

設問二

【出題の意図】

現代文の論理的文章についての問題です。森山至貴の文章を題材としました。

「シーライオニング」というオンラインハラスメントを題材とした箇所から出題しました。

マジョリティとマイノリティの不均衡という問題や、人との対話の望ましいあり方について考えさせることを狙いとしています。SNS 上のコミュニケーションで経験するトラブルは受験生にとっても身近な題材ですが、経験的な知識だけに頼らず、論旨を的確に読みとる力が必要です。

設問三

【出題の意図】

古文についての問題です。平安時代の日記文学である『更級日記』を題材としました。

古文の基礎的な語彙・文法の理解をふまえ、年齢を重ね経済的に豊かになった筆者が、若い頃の自分をどう振り返り、再び逢坂の関を越える際にどのような感情を抱いたのかを、文章や和歌の内容から理解できたかを問いました。